



座禅草が見ごろです

春の訪れを告げる座禅草が1月末から咲き始め、訪れる人々の目を楽しませてくれています。座禅草はその花の姿が、座禅を組む僧の姿を連想させることからその名がついたと言われていいます。今津町の群生地では3千株近くが自生しています。また、群生地の中には、種子から発芽した幼い座禅草が、草の下や土の中にたくさん生えています。これを踏むと、数年後の花をめざして成長を続けている幼い座禅草は枯れてしまいますので、必ず遊歩道から鑑賞してください。

(今津支所
地域振興課)



「気づき」を「きっかけ」に! ご近所防災サミット

1月28日に開催したご近所防災サミットには、市内47団体の自治会をはじめ、各関係機関から231人、一般聴講にも多数のご参加をいただき、皆さんの関心の高さを改めて実感しました。

サミットでは、地域防災における取り組み事例や課題の発表を基に、今後の取り組みについて熱心に考えていただくとともに、今後の地区防災に役立てていただくため、それぞれの地域が持つ「強み」と「弱み」を地図上で確認していただきました。最後に参加者のご意見をまとめ防災10か条を作成しました。こうした皆さんの関心、熱意と貴重なご提言をしっかりと受け止め、今後、高島市の防災体制を着実に固めていきたいと考えています。

(総合防災課)

1/28 目



継体天皇の謎にせまる 高島古代史連続講座が開講

「謎の大王 継体天皇を探る」をテーマとする高島古代史連続講座の第1講「継体天皇と日本の古代」が、安曇川公民館のふじのきホールで開催されました。当日は、主催者の予想をはるかに上回る302人の参加者が、講師の水谷千秋先生による高島の古代史の謎にせまる興味深い話に時を忘れて熱心に耳を傾けました。

なお、本講座第2講(2/24)、第3講(3/25)の会場は、参加希望者多数のため、藤樹の里文化芸術会館ホールに変更になりましたので、ご注意ください。

(文化財課)

1/21 目

まちネタ 写真館

あんなできごと、こんな人。まちで起こったホットなニュースを紹介します。ニュースは皆さんから大募集!! あなたのとびきりを紹介してください。毎月5日〆切。秘書広報課までご連絡ください。



昔懐かし〜いあそび

大師山さくら園では昔ながらのあそびを親子で楽しみました。

凧作り・びゅんびゅんこま作り・でんでん太鼓作りをしたり、お手玉・紙風船・パチンコ・竹とんぼ・紙飛行機・しゃぼんだま・竹馬などで存分に遊んだ後、みんなでお雑煮を食べました。

講師の方は昔からのあそびの良さをずっと伝えていきたいと願い一年近くかかって玩具を作り、作り方や遊び方を教えてくださいました。保護者の方からも「親自身、昔やっていたあそびで、上手くできるコツや楽しみ方を自らの言葉や経験で子どもたちに伝えることができ、子どもとのコミュニケーションが図れた。親が一番真剣になり楽しんでいたらかも」との声がありました。

(大師山
さくら園)

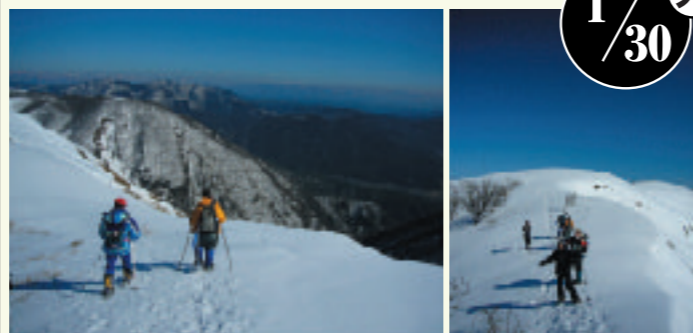


1/13 土



スノーシューで、 冬の高島に挑む!

「中央分水嶺・高島トレイル」の冬の楽しみ方のひとつとして、スノーシュートレッキング(山歩き)が市内外から注目されています。トレッキングの絶好の地“たかしま”を広く情報発信するため関係者、記者クラブにも呼びかけ、今回は、マキノ高原を発着地に、寒風から尾根伝いに赤坂山方面を目指す約9kmのコースに挑みました。暖冬の影響から雪が少なく、中腹あたりからようやくスノーシューを楽しめるほどの雪が現れました。初めてのスノーシューも5分もすればごちなさもなくなり、踏みしめた足をふわっと押し上げてくれる感覚を一同絶賛してしまいました。



美しいブナ林を抜け、たどり着いた頂上からは、眼下に琵琶湖、反対に日本海、遠くには白く輝く白山連峰など、言葉では言い表せない絶景が見渡せます。

この、魅力的なスポットを、より多くの皆さんに楽しんでいただくため、現在、コース整備や案内ガイドの養成などの準備が進められています。ご期待ください。

(秘書広報課)

※スノーシュー：日本では雪の上を歩くための道具として「かんじき」が代表的ですが、スノーシューはその西洋版です。

1/30 火



杵つきのお餅は最高!

ボーイスカウト高島第6団では毎年恒例の新春餅つきを行いました。

スカウト活動は、中学生になると忙しくなかなか参加できない子が多いのですが、こうした行事には楽しんで参加してくれます。

杵つきのお餅は毎年大人気で、口いっぱいにはおぼっていました。



1/21 目